

いずよう魅力化協議会だより

No. 1 令和8年7月15日 島根県立出雲養護学校

6月19日(金)に令和8年度 第1回いずよう魅力化協議会を開催しました。今回はグランドデザインや今年度の学校経営プラン、重点目標について説明を行った後、「出雲養護学校の『働き方改革』について」をテーマに、グループに分かれて協議を行いました。

委員の皆様のご紹介

今年度、新たに4名の方にご参加いただき、13名の皆様に委員としてご協力いただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

稲根 克也	出雲観光協会事務局 事務局長
宇谷 留美	元出雲養護学校PTA会長
小村 和恵	神西コミュニティセンター センター長
河上 史子	出雲フィンランド協会 事務局長
木村 友理	出雲養護学校 保護者
須谷 真紀	出雲養護学校PTA会長
武田 泰巳	出雲サンサン保育園 園長
武部 豪	石見銀山世界遺産センター 統括責任者
橋田 正義	社会福祉法人亀の子 タートルホーム世話人
細木 皇宏	三刀屋太鼓振興会 事務局長
堀西 雅亮	島根県外国人地域サポーター
森山 和子	OfficeSou 代表
森脇 麻里子	さざなみ学園 園長

魅力化協議会の様子

グランドデザインや今年度の学校経営方針について、三代校長より説明を行いました。また、今年度から始まる雲南コミュニティハイスクールコンソーシアムについても説明がありました。説明後、委員の皆様からご承認いただきました。



協議～出雲養護学校の「働き方改革」について～

始めに「島根県教職員働き方改革プラン」と、それを踏まえた本校の働き方改革の進め方や現状と課題等の説明を行いました。

その後グループに分かれて協議を行いました。委員の皆様からはご自身の職場での取組も交え、様々なご意見やアドバイス等をいただくことができ、有意義な時間となりました。



<グループ協議での話題>

- 子ども達一人一人の障がい等に係る専門研修をしたり、事務作業もしたりと、大変だと思う。
- 考えたことがちょっとでも伝わる、わかってもらえることが「働きがい」＝「生きがい」につながると思う。
- 見えない苦勞をわかってもらえるよう、声が通ると良い。
- ストレス発散、仕事とプライベートの切り替えをうまくする方法を県の事例等から学ぶと良い。
- 事務作業（書類の多さ）があるが、どこまでするのかという見極めも必要。



第2回のいずよう魅力化協議会は10月15日(木)を予定しています。今後、HP等でお知らせします。